



URBAN SYSTEM

URBAN TIMES

「書類のペーパーレス（デジタル化）への流れ」

日頃は弊社アーバンタイムスをご愛顧頂き誠に有り難う御座います。

さて、2022年1月1日より、改正電子帳簿保存法が施行され、国税関係の帳簿・書類のデータ保存について、抜本的な見直しが行われました。ただし、2021年12月10日に発表された与党の「令和4年度税制改正大綱」では、「電子取引」に関するデータ保存の義務化について、2023年12月末まで2年間に行われた電子取引については従来どおりプリントアウトして保存しておくことが認められることとなり、それに対応するための省令改正等が行われました。

今回のアーバンタイムスでは、この「電子帳簿法」を特集したいと思います。電子帳簿法の主な保存区分は、以下の3種類に分けられます。

- ①電子帳簿等保存は、「電子的に作成した帳簿・書類をデータのまま保存」することです。具体的にいうと、自分が会計ソフト等で作成した帳簿や決算関係書類などを「電子データのまま保存する」ことを指します。
- ②スキャナ保存は、「紙で受領・作成した書類を画像データで保存」することです。具体的にいうと、相手から受け取った請求書や領収書などを、スキャンして保存することです。
- ③電子取引データ保存は、「電子的に授受した取引情報をデータで保存」することです。具体的には、領収書や請求書といったように、紙でやりとりしていた場合にはその紙を保存しなければならない内容をデータでやりとりした場合には「電子取引」に該当し、そのデータを保存しなければならないというものです。電子取引データを紙ではなく電子データで保存する要件には、

- 「1. システム概要に関する書類の備え付け」、
- 「2. 見読可能装置の備え付け」、
- 「3. 検索機能の確保」、
- 「4. データの真实性を担保する措置」が必要です。

さて、「電子取引」に関するデータ保存義務化は、2024年1月から対応しなければなりません。また、一足先に2023年10月からは「インボイス制度」もスタートします。経理業務を取り巻く環境が大きく変わるなかで、今から準備をしておくことが重要です。

筆者：張ヶ谷

借りたいリスト(問い合わせ物件の一部)			* . 先月の問い合わせ件数 109件		
用途	敷地	建物	地域	条件	入居日
倉庫(物流関連)	車両数台分	600坪	関東湾岸地域	相場	即検討
倉庫(機械関連)	車両数台分	500坪	関東湾岸地域	相場	即検討
倉庫(物流関連)	車両数台分	400坪	関東湾岸地域	相場	即検討
工場(クリーニング関連)	車両数台分	400坪	関東湾岸地域	相場	即検討
倉庫(バイク関連)	車両数台分	200坪	関東湾岸地域	相場	即検討
工場(鉄工関連)	車両数台分	100坪	江戸川区周辺	相場	即検討
工場(印刷関連)	-	100坪	都内23区	相場	即検討
資材置き場(建築資材関連)	1500坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(建機レンタル関連)	200坪位	-	大田区湾岸地域	相場	即検討
駐車場(運送関連)	100坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討

集中豪雨

近年は「線状降水帯」と呼ばれる集中豪雨の被害が、全国各地で見られるようになってきました。気象庁でも線状降水帯の予報は困難であり、雨の降り方がこれまでとは全く違ってきます。温暖化の影響もあって東京地方でもいつ線状降水帯が発生してもおかしくない状態と言えます。

東京でも過去に何度も洪水災害が発生し、大きな被害を受けてきた歴史があります。100年に1度の大雨を「災害」にしないため、都内を流れる河川の治水対策が進められてきました。「100年に1度」というのは、これまでの気候が穏やかだった時代の話で、近年の異常気象とは比較になりません。地下調整池や地下放水路と呼ばれる「地下神殿」が都心の地下にも建設され、中小河川の氾濫に対応できる準備が進められています。

東京の治水機能は、「1時間に50ミリ」が目標なので、近年の、1時間に50ミリを遙かに超える雨には対応できません。長期的には「1時間に75ミリ」までの雨に対応できるように目標を立てていますが、まだまだ先の話で、しばらくは間に合いそうにありません。また、荒川や多摩川などの大きな河川では、上流に降った大量の雨が流れてくるため、下流部ではそれほどの雨ではないのに「流域型洪水」を起こす可能性があります。荒川の下流に位置する江東5区は、東京湾の平均潮位より低い海拔ゼロメートル地帯なので、荒川の堤防が崩れたら莫大な水が流れ込み、大変な被害を発生させることとなります。

管理物件のテナント紹介 第209回

株式会社 アマヤ 様

1971年大阪市天王寺に内装工事店として創業。現在は自社物流ネットワークを築く総合インテリア商社として、関西・中部・関東を中心に創業から約50年業界トップクラスのシェアを築いている会社になります。扱商品としては、壁材・床材・窓。壁材：壁紙は、防カビや防汚、消臭、抗菌など最新機能を付加したもの、環境に配慮したエコロジー壁紙などがトレンド。床材：床は壁の次に目に飛び込む部分で、耐久性や衝撃吸収性、衛生面やメンテナンスなど機能面重要。カーペット・カーペットタイル・ラグなどの繊維系、クッションフロア・フロアタイルなどの塩ビ系、天然素材のリノリウムなどがあります。窓材：窓装飾材には、カーテンやブラインド、ロールスクリーンなどがあり、病院や福祉施設などに使われる「コントロールカーテン」では、抗菌・消臭・制電性に加え、色による治療効果を考えたヒーリングデザインのメディカルカーテンなど。資材ごとにメーカーが違くと、発注業務が煩雑になりますが、発注を一本化し、幅広いラインナップで、ご要望に合わせた資材の提案も可能。アマヤだからできる手厚いサービスが、高い信頼性に繋がっています。今回の新木場移転は、台東区にある東京営業所が手狭になり、商品の配送拠点として営業。

◆江東区新木場2-9-6 ◆2022年9月入居 ◆TEL: 03-3832-0115 末益